

千歳川上流部には王子製紙苫小牧工場に電力を供給する王子製紙千歳川発電所が5か所あり、その一部を支笏湖地区で特定供給を受けています。

千歳市内の都市ガスは全て天然ガスで、北海道ガスが供給し、平成30年度末の一般ガス普及率は全市の41.2%、供給区域内の45.0%となっています。

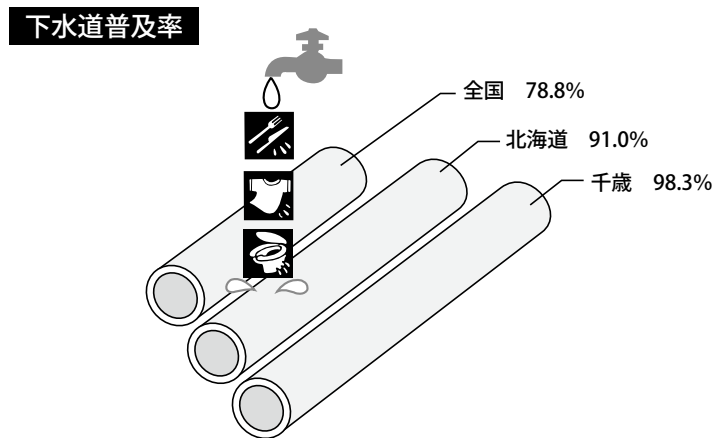
千歳市の水道事業は昭和30年に春日町の浄水場から給水を開始したのが始まりです。その後、人口が増加し浄水施設の能力が限界に近づいたため、39年からは蘭越浄水場から給水を行っています。蘭越浄水場は環境省の「名水百選」に選ばれた、「ナイベツ川湧水」を主水源としています。また、支笏湖温泉地区ではシリセツナイ川の伏流水を主水源として簡易水道による給水を行っています。

千歳市では石狩東部広域水道企業団の漁川浄水場と千歳川浄水場から受水を行っています。漁川浄水場からの受水については、増え続ける給水人口に対応するため、漁川ダムを水源として昭和59年4月から開始しました。また、千歳川浄水場からの受水については、その後も続く給水人口の増加や産業の集積などで将来の水不足が懸念されたことから、同企業団の夕張シューパロダム建設事業への参画によって、良好な水質及び安定的な水量を持つ千歳川上流に新たな水道水源が確保され、平成27年4月から開始しています。30年度末の上水道普及率は99.9%と高い水準になっています。

下水道事業は昭和35年に都市下水路として計画を策定し、36年に着工したのが始まりで、39年には公共下水道事業認可を受けて本格的な整備に着手しています。その後、急速な市街地の開発に対応するため46年に終末処理場の建設に着手し、51年から運転を開始しています。

現在認可されている公共下水道事業計画では、予定処理面積を約3,452ha、想定区域人口92,880人、終末処理能力64,200m³/日とし、令和2年度までに認可区域内の整備を完了する予定です。また、

下水道処理区域以外については、全市的な生活環境の向上を目的に合併処理浄化槽による個別排水処理施設整備事業により水洗化を進めています。平成30年度末現在の下水道普及率は98.3%と高い水準になっています。また、水洗化率は99.9%で、市民の快適な生活環境と千歳川の清流を守っています。



1 平成31年3月31日現在
水道局工事課

91 電灯状況の推移

年度	契 約 口 数				使 用 電 力 量 (千kWh)			
	総 数	従 量	公衆街路	定 額	総 数	従 量	公衆街路	定 額
24	57,327	45,295	10,476	1,556	197,932	183,708	13,281	943
25	57,897	45,893	10,487	1,517	196,030	182,013	13,074	943
26	58,394	46,368	10,523	1,503	190,701	177,247	12,503	951
27	59,100	47,000	10,650	1,450	189,000	176,482	11,565	953
28	…	…	…	…	…	…	…	…

- 1 契約口数は各年度末現在の数値
 2 電力小売全面自由化に伴い公表中止
 北海道電力㈱千歳支社

92 電力状況の推移

年度	契 約 口 数				使 用 電 力 量 (千kWh)			
	総 数	低 圧	民生・産業用	その他	総 数	低 圧	民生・産業用	その他
24	7,090	1,580	579	4,931	630,251	13,689	584,716	31,846
25	7,172	1,573	577	5,022	632,917	13,455	588,756	30,706
26	7,190	1,566	581	5,043	630,762	13,506	589,527	27,729
27	7,128	1,574	535	5,019	574,783	13,373	534,314	27,096
28	…	…	…	…	…	…	…	…

- 1 契約口数は各年度末現在の数値
 2 電力小売全面自由化に伴い公表中止
 北海道電力㈱千歳支社

93 王子製紙千歳川発電所

(1) 施設概要

発電所	出 力 (kw)		採 水 方 式	貯水容量 (千m ³)	使用水量 (m ³ /s)		発 電 機			
	最 大	常 時			最 大	常 時	種 類	台数	型 式	台数
千歳第1	25,800	11,000	暗 渠	215,323.9	18.10	11.1	3相交流 同 期	5	縦軸回転界磁	1
									横軸回転界磁	4
第2	2,700	1,530	隧 道	34.0	19.4	6.83	3相交流 同 期	1	縦軸回転界磁	1
第3	3,300	1,250	ダ ム	483.4	23.5	6.85	3相交流 同 期	1	横軸回転界磁	1
第4	3,600	1,600	ダ ム	337.8	25.5	12.5	3相交流 同 期	2	横軸回転界磁	2
第5	1,600	1,000	隧 道	15.9	19.9	6.83	3相交流 同 期	1	縦軸回転界磁	1

- 1 平成30年4月1日現在
 王子製紙㈱苫小牧工場

(2) 電力需給状況の推移

(単位 MWH)

年度	計	発 電 電 力 量					消 費 電 力 量		
		発 電 所 内 訳					自 家 用		販 売 用
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	工 場	そ の 他	
26	169,732	120,238	12,709	13,723	15,868	7,194	159,677	4,616	5,439
27	144,319	98,523	13,155	12,314	12,197	8,130	135,109	3,711	5,499
28	172,067	116,800	15,822	15,444	14,509	9,492	163,459	3,141	5,466
29	142,516	97,751	12,637	11,971	11,933	8,224	135,704	1,456	5,357
30	170,882	115,615	15,568	15,261	14,815	9,623	163,841	1,766	5,275

1 自家用「工場」は千歳発電所から苫小牧工場へ送電された電力（苦受電量）

2 自家用「その他」は発電所内消費及び送電損失量

3 「販売用」は支笏湖地区への特定供給

王子製紙(株)苫小牧工場

94 一般ガス

(1) 供給の推移

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
供給戸数	一般ガス	16,090	16,260	16,608	16,790	16,957
計量器取付数	一般ガス	19,196	19,377	19,704	19,844	20,070
普及率	区域内(%)	45.9	45.6	45.6	45.4	45.0
	市全域(%)	42.0	42.0	41.8	41.5	41.2

1 各年度末現在

2 普及率は各年度末現在の住民基本台帳世帯数に対する計量器取付数の割合

3 供給戸数は各年度末現在の調定数

北海道ガス(株)千歳支店

(2) 用途別供給戸数と消費量の推移

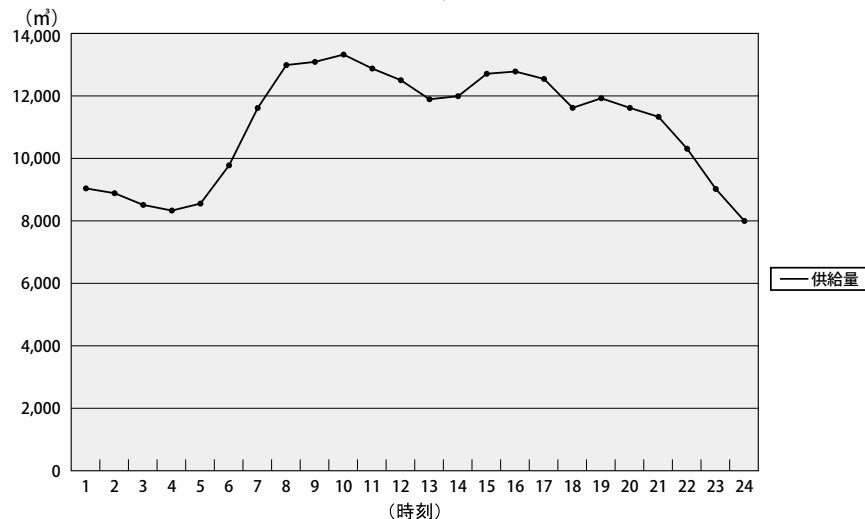
(単位 千kcal)

区分	総数	家庭	商業	医療	公用	工業
一般ガス						
供給戸数						
26年度	16,090	15,476	418	28	139	29
27年度	16,260	15,636	427	28	141	28
28年度	16,608	15,980	429	27	144	28
29年度	16,790	16,169	423	26	144	28
30年度	16,957	16,319	433	28	148	29
消費量						
26年度	413,817,937	49,639,737	166,661,335	7,601,733	7,904,722	182,010,410
27年度	432,137,745	54,594,348	169,369,325	7,453,502	8,397,835	192,322,735
28年度	466,777,470	63,957,953	179,011,333	7,842,974	9,395,167	206,570,044
29年度	470,585,863	71,048,513	176,387,548	7,818,239	10,454,784	204,876,779
30年度	460,234,891	74,386,291	169,974,109	7,160,919	9,911,822	198,801,750

- 1 供給戸数は各年度末現在
 - 2 数値は全て天然ガス（一般ガス）
 - 3 標準熱量は45メガジュール/m³
- 北海道ガス(株)千歳支店

時間別供給推移

年度中最大供給日（平成31年2月13日）265,217m³/日



96 上水道

(1) 給水の推移

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
給水区域内戸数(戸)	43,589	44,289	44,993	45,496	46,272
給水区域内人口(人)	94,652	95,251	95,594	95,970	96,414
給水人口(人)	94,550	95,141	95,486	95,863	96,307
普及率(%)	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
配水管延長(m)	683,304	693,219	694,147	703,978	699,285
総配水量(m ³)	11,725,821	11,989,070	11,846,807	11,702,230	11,691,374
1日平均給水量(m ³)	32,126	32,757	32,457	32,061	32,031
1日最大給水量(m ³)	37,198	37,607	36,142	37,702	36,675
1人1日平均給水量(ℓ)	340	344	340	334	333
1人1日最大給水量(ℓ)	393	395	379	393	381
料金収入(千円)	1,548,079	1,579,113	1,592,517	1,598,470	1,837,371

1 給水区域内戸数、給水区域内人口、給水人口は各年度末現在の住民基本台帳(区域内)により算出した

2 料金収入は消費税加算後の調定額

水道局総務課・施設維持課

(2) 用途別給水戸数と有収水量の推移

(単位 m³)

区 分	総 数	家 庭	公 用	営 業	工 業	浴 場	医 療	部 隊	その他
給水戸数									
26年度	39,961	37,694	262	1,761	153	2	84	3	2
27年度	40,481	38,178	264	1,788	155	2	85	3	6
28年度	41,121	38,831	271	1,770	155	2	86	3	3
29年度	41,871	39,547	278	1,791	157	3	88	3	4
30年度	42,713	40,350	282	1,825	161	3	88	3	1
有収水量									
26年度	11,086,767	6,792,081	359,473	1,482,624	1,416,032	1,942	202,537	827,444	4,634
27年度	11,277,586	6,852,184	359,981	1,513,935	1,503,224	1,932	204,847	835,496	5,987
28年度	11,366,520	6,876,404	354,831	1,543,280	1,615,768	2,004	208,676	761,497	4,060
29年度	11,410,438	6,924,313	341,576	1,512,304	1,624,915	3,464	209,265	787,689	6,912
30年度	11,382,150	6,939,070	329,236	1,543,008	1,538,143	7,513	192,869	825,805	6,506

1 給水戸数は各年度末現在

水道局総務課

97 簡易水道

(1) 給水の推移

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
給水区域内戸数(戸)	90	93	94	87	93
給水区域内人口(人)	163	158	162	144	146
給水人口(人)	162	158	162	144	146
普及率(%)	99.4	100	100	100	100
配水管延長(m)	4,120	4,120	4,147	4,147	4,173
総配水量(m ³)	74,367	78,169	101,036	98,572	71,933
1日平均給水量(m ³)	204	214	277	270	197
1日最大給水量(m ³)	398	329	418	411	325
1人1日平均給水量(ℓ)	1,258	1,352	1,709	1,875	1,350
1人1日最大給水量(ℓ)	2,457	2,082	2,580	2,854	2,226
料金収入(千円)	12,380	12,992	13,199	13,419	12,180

1 給水区域内戸数、給水区域内人口、給水人口は各年度末現在の住民基本台帳(区域内)により算出した

2 料金収入は消費税加算後の調定額
水道局総務課・施設維持課

(2) 用途別給水戸数と有収水量の推移

(単位 m³)

区 分	総 数	家 庭	公 用	営 業	医 療	そ の 他
給水戸数						
26年度	119	75	19	24	1	—
27年度	123	78	19	25	1	—
28年度	122	77	19	25	1	—
29年度	128	83	19	25	1	—
30年度	155	109	19	26	1	—
有収水量						
26年度	68,817	9,589	8,542	50,576	84	26
27年度	72,360	10,240	8,173	53,881	66	—
28年度	73,356	10,158	9,021	54,118	59	—
29年度	74,131	9,598	8,802	55,669	62	—
30年度	66,700	8,927	7,587	50,121	61	4

1 給水戸数は各年度末現在
水道局総務課

98 水道料金表

(単位 円)

種 類	用途区分	口径区分	基 本 料 金 (1か月当たり)		1 m ³ 従量料金 (1か月当たり)	
			基本水量	料 金		
上 水 道	一般用	25mm以下		830	使用水量8 m ³ まで 使用水量8 m ³ を超えるもの	10 159
		40mm		1,140		
		50mm		3,240		
		75mm		5,710		
		100mm		10,030		
		150mm		29,060		
	200mm		48,550			
	浴場用			6,430	使用水量100m ³ まで 使用水量100m ³ を超えるもの	5 90
簡易水道	一般用		使用水量8 m ³ まで	1,110	使用水量8 m ³ を超え50m ³ まで 使用水量50m ³ を超え1,000m ³ まで 使用水量1,000m ³ を超えるもの	161 163 165
			使用水量8 m ³ まで	1,900	使用水量8 m ³ を超えるもの	165
	臨時用		使用水量8 m ³ まで	1,900	使用水量8 m ³ を超えるもの	165

1 平成31年4月1日現在

2 上表により算定した合計額に消費税等相当額を加えた額を料金とする
水道局総務課

99 公共下水道

(1) 管渠施設の推移

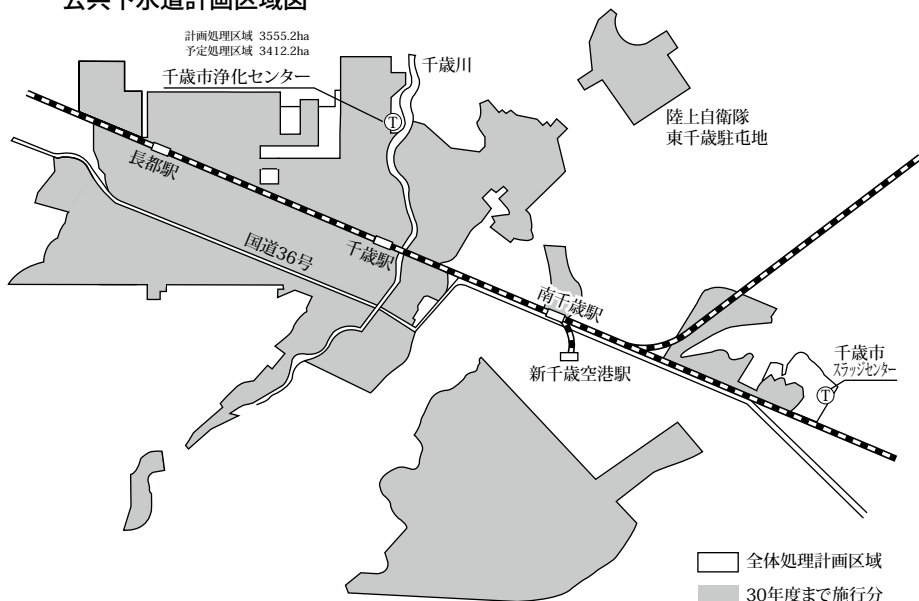
年度	管渠施設		行政区域		処 理 区 域			普 及 率	
	単年度	累 計	人 口	面 積	単年度	累 計	累 計	$\frac{\text{処理区域人口}}{\text{行政人口}}$	$\frac{\text{処理区域面積}}{\text{行政面積}}$
	km	km	千人	ha	ha	ha	千人	%	%
26	6.58	987.36	94.8	59,495	0	3,357.9	93.0	98.1	5.64
27	13.53	994.39	95.4	59,450	50	3,407.9	93.7	98.2	5.73
28	5.19	999.59	95.8	59,450	0	3,407.9	94.1	98.3	5.73
29	1.55	1,014.13	96.1	59,450	0	3,407.9	94.4	98.3	5.73
30	1.91	1,016.04	96.6	59,450	0	3,407.9	94.9	98.3	5.73

1 各年度末現在の数値

2 支笏湖温泉を含む
水道局工事課

公共下水道計画区域図

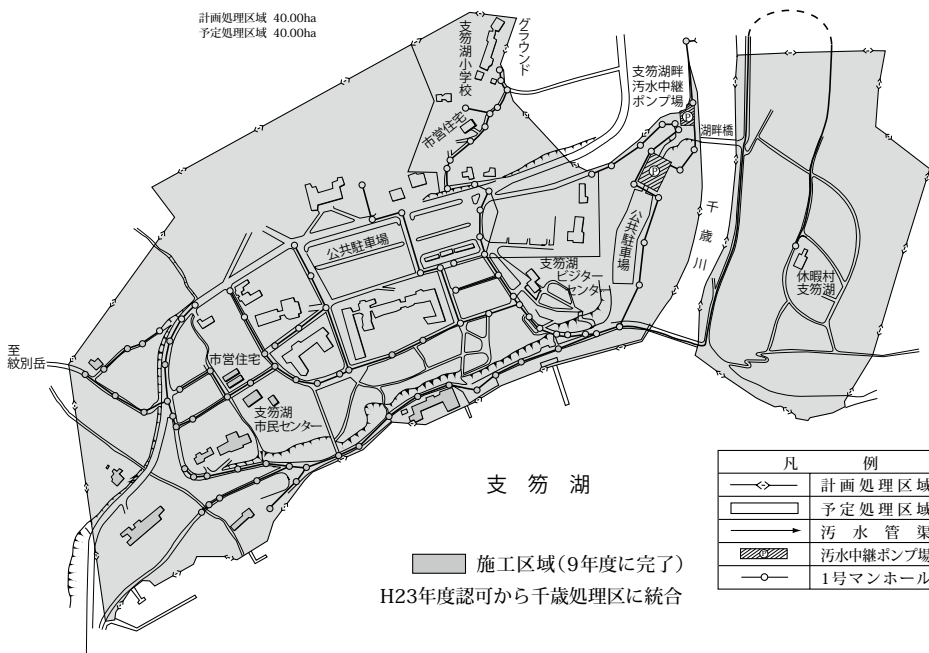
計画処理区域 3555.2ha
 予定処理区域 3412.2ha



- 全体処理計画区域
- 30年度まで施行分

支笏湖畔特定環境保全公共下水道計画区域図

計画処理区域 40.00ha
 予定処理区域 40.00ha



■ 施工区域(9年度に完了)

H23年度認可から千歳処理区に統合

凡 例	
	計画処理区域
	予定処理区域
	汚水管渠
	污水中継ポンプ場
	1号マンホール

水道局工事課

(2) 事業計画と実績

区 分	事 業 計 画	実 績
千歳処理区		
処 理 人 口 (人)	92,730	94,799
処 理 面 積 (ha)	3,412.2	3,407.9
建 設 年 度	S36～H32	S36～H30
建 設 事 業 費 (千円)	80,513,926	77,186,633
管 渠 延 長 (m)汚水管	561,060	554,854 (合流管を含む)
雨水管	536,876	454,689
処 理 方 式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
日平均汚水量 (m ³ /日)	51,460	50,203
日最大汚水量 (m ³ /日)	59,650	58,975
水 処 理 能 力 (m ³ /日)	64,200	64,200

- 1 平成31年3月31日現在
- 2 促進事業、祝梅川特環事業及び蘭越特環事業含む
- 3 汚水量は支笏湖温泉地区含む
水道局工事課

(3) 下水道普及と水洗化の推移

年 度	行政区域内	処理区域内		水洗化 世帯数	水洗化 人 口 C	下水道 普及率 B/A	水洗化率 C/B
	人 口 A	世帯数	人 口 B				
						%	%
26	94,820	45,520	93,048	45,447	92,897	98.1	99.8
27	95,413	46,268	93,652	46,200	93,512	98.2	99.9
28	95,761	46,976	94,089	46,930	93,996	98.3	99.9
29	96,119	47,596	94,440	47,550	94,353	98.3	99.9
30	96,565	48,372	94,876	48,329	94,796	98.3	99.9

- 1 各年度未現在の数値
- 2 支笏湖温泉含む
水道局工事課

(4) 事業費の推移

臨時事業費と財源内訳の推移

(単位 千円)

年度	臨時事業費	財 源 内 訳				
		国庫補助金	起 債	受益者負担金等	市 費	そ の 他
S36～H24	(3,520,117) 78,078,779	(120,882) 28,895,258	(90,100) 31,245,920	7,453,674	(1,258,211) 5,258,599	(2,050,924) 5,225,328
25	(14,588) 1,073,468	486,272	452,400	1,520	(6,394) 125,082	(8,194) 8,194
26	(13,904) 891,933	383,509	245,000	26,218	(6,052) 229,354	(7,852) 7,852
27	(12,552) 560,615	224,872	143,100	89,017	(5,376) 96,450	(7,176) 7,176
28	(12,084) 851,816	364,004	310,400	2,225	(4,779) 167,882	(7,305) 7,305
29	(11,507) 459,465	125,120	88,700	3,388	(4,854) 235,604	(6,653) 6,653
累 計	(3,584,752) 81,916,076	(120,882) 30,479,035	(90,100) 32,485,520	7,576,042	(1,285,666) 6,112,971	(2,088,104) 5,262,508

1 () 内数値は排水設備費及び促進事業費で内数を表す

2 祝梅川特環事業及び蘭越特環事業を含む
水道局総務課

100 支笏湖畔特定環境保全公共下水道

事業費

(単位 千円)

年度	臨時事業費	財 源 内 訳					
		国庫補助金	道費補助金	起 債	受益者分担金	市 費	その他
S51～H29	1,688,885	918,900	49,782	599,100	21,388	99,324	391

水道局総務課

マンホールふたデザイン

下水道30周年記念公募作品



水道局総務課

101 下水道使用料算定表

(単位 円)

区 域	汚水の 種 類	終末処理場に接続するもの			終末処理場に接続しないもの		
		基 本 使用料	1 m ³ の従量使用料		基 本 使用料	1 m ³ の従量使用料	
			汚 水 量	金額		汚 水 量	金額
処 理 区 域 内	一般汚水	550	汚水量 8 m ³ まで	9	100	汚水量 8 m ³ まで	1
			汚水量 8 m ³ を超え50 m ³ まで	95		汚水量 8 m ³ を超えるもの	14
			汚水量50 m ³ を超え1,000 m ³ まで	99			
			汚水量1,000 m ³ を超えるもの	103			
	公衆浴場 の 汚 水	5,100	汚水量300 m ³ まで	1			
			汚水量300 m ³ を超えるもの	25			
温 泉 水 の 汚 水	13,000	汚水量 8 m ³ まで	3				
		汚水量 8 m ³ を超えるもの	11				
処 理 区 域 外	一般汚水	860	汚水量 8 m ³ まで	10	170	汚水量 8 m ³ まで	1
			汚水量 8 m ³ を超え50 m ³ まで	101		汚水量 8 m ³ を超えるもの	22
			汚水量50 m ³ を超え1,000 m ³ まで	105			
			汚水量1,000 m ³ を超えるもの	109			

1 平成31年4月1日現在

2 上表により算定した合計額に消費税等相当額を加えた額を使用料とする

3 汚水量は水道の使用水量とする

4 温泉水の汚水は、支笏湖温泉地区のみの適用とする

5 一般家庭で地下水を使用し揚水量測定器具が取り付けられていない場合は、4人までを8 m³とし、1人増すごとに2 m³、浴槽は1個につき3 m³、水洗式大便器は1個につき2 m³、水洗式小便器は1個につき1 m³を加えたものを汚水量とする

水道局総務課

102 個別排水処理施設（合併処理浄化槽）

(1) 事業計画と実績

区 分	計 画	実 績
公共下水道計画区域内地区		
処 理 人 口 (人)	375	22
処 理 戸 数 (戸)	75	6
整 備 年 度	H8～32	H8～30
整 備 事 業 費 (千円)	165,000	10,483
公共下水道計画区域周辺地区		
処 理 人 口 (人)	1,058	615
処 理 戸 数 (戸)	257	172
整 備 年 度	H6～32	H6～30
整 備 事 業 費 (千円)	566,400	297,630
祝梅川特環下水道周辺地区		
処 理 人 口 (人)	853	316
処 理 戸 数 (戸)	227	93
整 備 年 度	H6～32	H6～30
整 備 事 業 費 (千円)	500,400	155,191

1 平成31年4月1日現在
水道局管路維持課

(2) 個別排水処理施設使用料金表

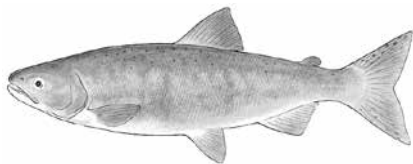
(単位 円)

区 分	月 額 料 金
5 人 槽	2,125
6 人 槽	2,295
7 人 槽	2,550
8 人 槽	2,720
10 人 槽	3,315

1 平成31年4月1日現在
2 上記料金表の額に消費税等相当額を加えた額を使用料とする
水道局管路維持課

市の魚 ヒメマス

平成8(1996)年11月1日制定



(サケ科の淡水魚。ベニザケの
湖沼残留型：陸封型)

もともと支笏湖には生息しておらず、明治27(1894)年に阿寒湖から支笏湖に移殖されたのが始まりでした。

ヒメマスは「チップ」と呼ばれ、毎年6月から8月までのチップ釣りは初夏の風物詩となっています。